

こんな方におススメ！

○えっ、こんなところにコラーゲン！？

現在報告されているコラーゲンペプチドの効果です。

このようなケアをお考えの方には是非「コラーゲン」をお薦めいたします。

もちろん、「コラーゲン」は美味しいお弁当ですので、健康な方にもオススメです。

コラーゲンペプチドのヒトでの効果が 国際誌に報告されている組織や事象

肌

※ Skin Pharmacol. Physiol.
(2014)

関節

※ J. Sci. Food Agric.
(2015)

褥瘡

※ 褥瘡予防ガイドラインで推奨
(C1)

骨

※ Nutrients
(2018)

血糖

※ J. Med. Food.
(2016)

血圧

※ Biosci. Biotechnol.
Biochem.
(2013)

血管

※ Biosci. Biotechnol.
Biochem.
(2018)

**セル
ライト**

※ J. Med. Food
(2015)

爪

※ J. Cosmet. Dermatol.
(2017)

約5-10 g コラーゲンペプチドの摂取が必要

〇おススメする方

<肌あれ、しわ、たるみ、ハリが気になる方>

肌

コラーゲンの整った網目構造が保水性・弾力性ともに向上させる。

<爪の傷みやヒビ割れ、艶が気になる方>

爪

老化などによって爪の表面がもろくなった状態を改善する。

<髪の毛の成長や艶が気になる方>

髪

髪の毛のハリやコシ、滑らかさに影響する毛髪の直径が増す。

<運動による関節の痛みや慢性に痛みを感じる方>

関節

関節炎などの痛みを軽減する抗炎症作用をもつ。

関節軟骨の動きを潤滑させ、軟骨に多いヒアルロン酸も増加させる。運動前後の関節ケアにも有効。

<骨が脆くなってきた方、骨折やヒビのある方>

骨

骨密度を上げる。

骨芽細胞のコラーゲン産生を高めると同時に、コラーゲンが骨の網目構造を補強するため、骨強度を増強させる。

<肌に傷を作ってしまった方>

創傷

線維芽細胞数が増加する。

さらに、炎症を起こした創傷部に線維芽細胞が集積し、コラーゲン合成を高めることで傷を早く修復させる。

<血圧が気になる方>

血管・血圧

血管の拡張作用により、血圧降下が認められる。